

第3章 景観計画区域と景観形成強化区域

1. 景観計画区域

守り育てるべき景観資源が市内各地にあること、また市全体として調和の取れた景観形成を推進する必要があることから、北上市全域を景観計画区域とします。



2. 景観形成強化区域

景観計画区域のうち、景観づくりを推進する上で重要な区域で、その特性に応じたきめ細やかな対応が必要な区域を、景観形成強化区域として設定します。

景観形成強化区域は、北上市の特徴的な景観を形成する以下の4つの区域に設定し、行為制限の強化などの重点的な景観形成の取組を行っていきます。

なお、今後北上市において特徴ある景観を有する地区や積極的に景観づくりを進めなければならない区域、地域住民が積極的に景観づくりに取り組もうとする区域について、景観形成強化区域にすることが必要となった場合は、本計画への追加を検討していきます。

景観形成強化区域の特徴と形成方針を下記に示します。

●北上川・展勝地

区域の特徴

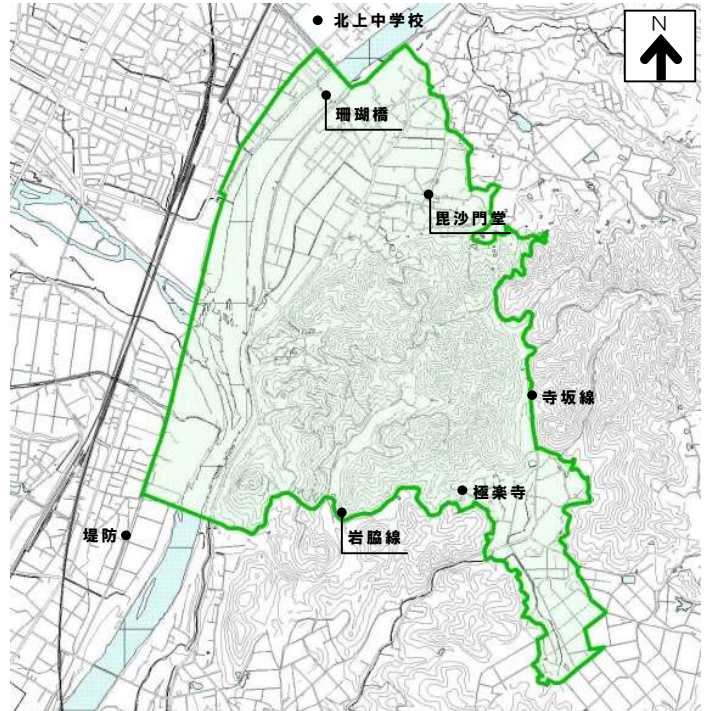
北上川・展勝地区域は、北上の歴史文化を語る重要な場所です。山岳仏教や舟運の歴史の地であると同時に、現在は桜の名所として市内外に知られ、多くの人々が訪れる観光・交流の拠点でもあります。

北上川と和賀川の合流点や展勝地の桜並木などの自然景観のほか、奥羽山脈や市街地を一望できる視点場として、また川岸側からの視対象となる山並みとしても優れた景観が見られ、北上を代表する景観エリアとなっています。

形成方針

自然と文化がとけあう、
趣のある景勝地の景観づくり

- ・四季の移ろいを感じられる豊かな自然景観を守ります
- ・舟運や国見山の歴史資源をいかします
- ・川岸側から見た桜並木と山並みの眺めを守ります
- ・シンボルである珊瑚橋や北上川の背景としてふさわしい景観づくりを行います



良好な景観形成のための配慮事項も参照してください。(P 40、41、51)

●和賀川・清水

区域の特徴

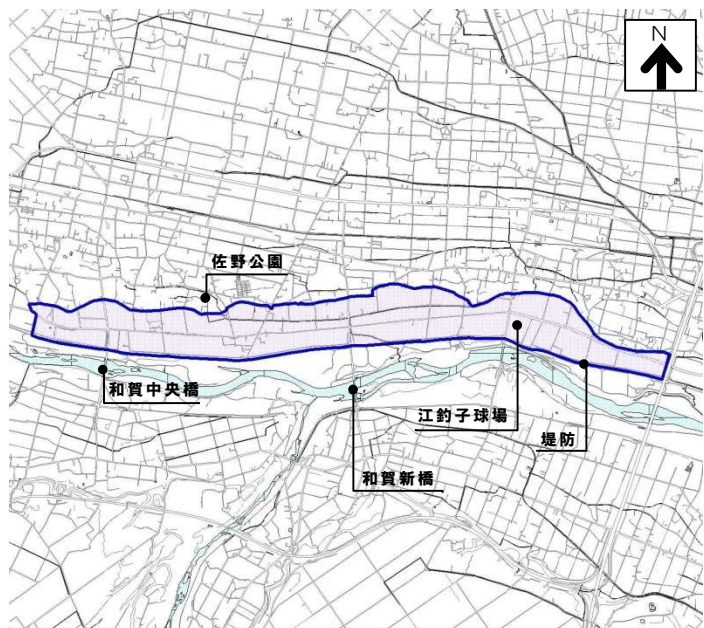
和賀川・清水区域は、奥羽山脈の眺めと整然とした水田が一体となって広がる雄大な空間を有し、和賀川堤防の桜つつみや清水、段丘の樹林など豊かな自然を身近に感じられる場所です。

人々の暮らしとともに育まれてきた清水の親水空間や桜並木に囲まれた、憩い・やすらぎの場所としても親しまれています。

形成方針

奥羽山脈を望む緑の回廊に囲まれた、
うるおいとやすらぎのある景観づくり

- ・広々とした雄大な自然景観を守ります
- ・奥羽山脈や農地の眺めを守ります
- ・桜つつみや清水周辺の樹林を守ります



良好な景観形成のための配慮事項も参照してください。(P 42、43、52)

●大通り

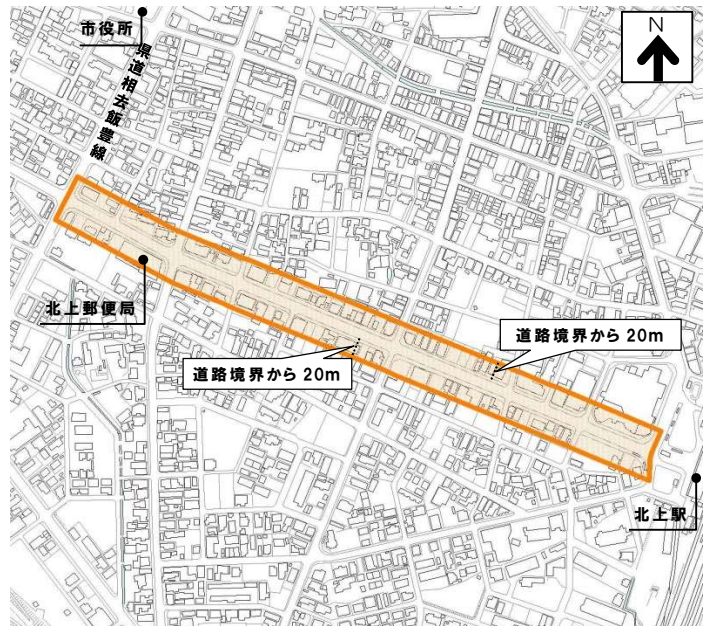
区域の特徴

大通り区域は、北上の玄関口である北上駅から延びる、北上の顔となる通りです。業務系建築物が集積した落ち着いた空間となっているほか、電線が地中化され広々とした歩行空間を形成しています。

形成方針

北上の玄関口としてふさわしい、
緑あふれる落ち着いたある景観づくり

- ・統一感のある整然としたまちなみをつくります
- ・みどりの保全・創出により、うるおいのある快適な歩行空間を演出します



良好な景観形成のための配慮事項も参照してください。(P44、45、53)

●広瀬川

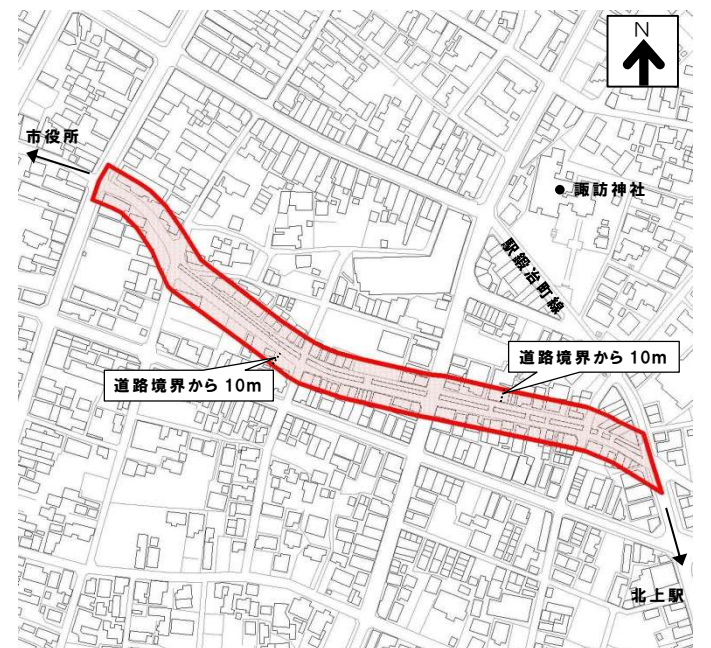
区域の特徴

広瀬川区域は、北上駅から諏訪町への移動軸上にある繁華街です。川沿いに飲食店が立ち並び、多くの人でにぎわう場所となっています。せせらぎ緑道の整備により、やすらぎの場としての役割も高まってきています。

形成方針

繁華街としてのにぎわいと
快適さをあわせ持った、
人々に親しまれる景観づくり

- ・表情豊かににぎわいの感じられる空間をつくります
- ・みどりの保全・創出により、うるおいのある快適な歩行空間を演出します



良好な景観形成のための配慮事項も参照してください。(P46、47、54)